

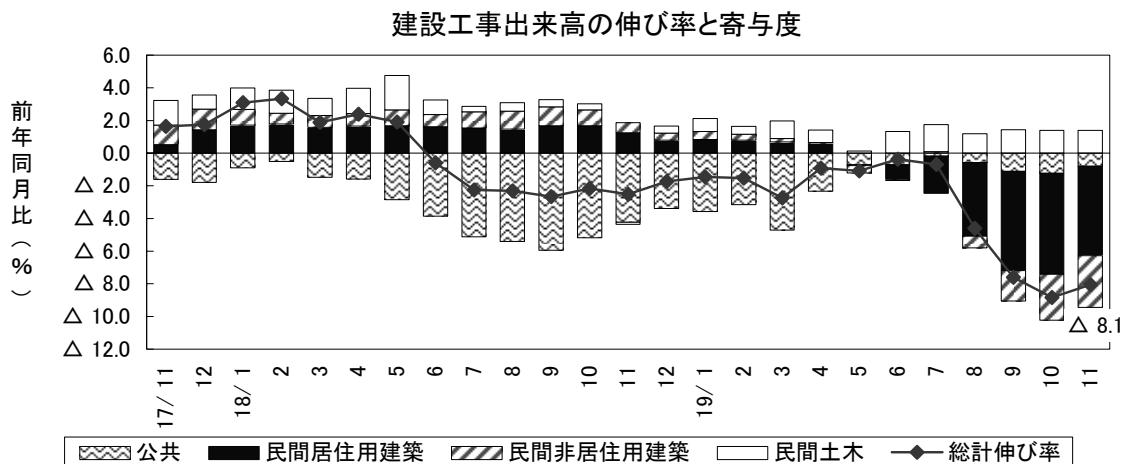
1. 建設投資の概況

(1) 建設工事出来高

11月の建設工事出来高は、全体で4兆5,431億円と前年同月比8.1%減少した。

公共は、建築が2,092億円（前年同月比11.5%減）、土木が1兆5,444億円（同0.8%減）となり、全体では1兆7,536億円（同2.2%減）となった。

民間は、建築が2兆1,657億円（前年同月比16.5%減）、土木が6,238億円（同12.5%増）となり、全体では2兆7,894億円（同11.4%減）となった。



(単位：億円)

区分		総計	民間	建築		土木	公共
年度年月	居住用			非居住用			
年	16年度	529,330	326,160	269,803	186,261	83,542	203,170
	17	536,080	338,704	278,771	188,528	90,242	197,376
	18	528,420	353,226	289,560	195,441	94,119	175,195
月	19年8月	41,085	28,924	23,392	15,430	7,962	12,161
	9	42,376	28,471	22,442	14,819	7,623	13,905
	10	44,246	28,183	22,045	14,802	7,244	16,063
	11	45,431	27,894	21,657	14,842	6,814	17,536

(前年比・%)

年	16年度	△ 4.4	2.8	4.9	2.2	11.7	△ 6.5	△ 13.9
	17	1.3	3.8	3.3	1.2	8.0	6.3	△ 2.9
	18	△ 1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	△ 11.2
月	18年11月	△ 2.5	2.8	3.8	3.7	3.9	△ 1.3	△ 10.7
	12	△ 1.7	2.8	2.5	2.4	2.8	3.9	△ 8.4
	19年1月	△ 1.5	3.6	2.7	2.5	3.1	7.6	△ 8.7
	2	△ 1.5	2.7	2.3	2.4	2.1	4.3	△ 8.0
	3	△ 2.7	3.3	1.9	2.2	1.2	8.5	△ 11.7
	4	△ 0.9	2.2	1.2	1.7	0.1	6.5	△ 6.8
	5	△ 1.1	△ 0.5	△ 0.9	△ 0.1	△ 2.3	1.0	△ 2.6
	6	△ 0.4	0.5	△ 1.6	△ 2.3	△ 0.3	10.6	△ 2.6
	7	△ 0.7	△ 0.7	△ 3.6	△ 5.5	0.5	13.4	△ 0.7
	8	△ 4.6	△ 5.7	△ 8.8	△ 11.2	△ 3.7	10.3	△ 2.0
	9	△ 7.6	△ 9.5	△ 14.0	△ 15.8	△ 10.0	12.3	△ 3.5
次	10	△ 8.8	△ 11.6	△ 16.6	△ 16.9	△ 15.8	12.4	△ 3.6
	11	△ 8.1	△ 11.4	△ 16.5	△ 15.4	△ 18.7	12.5	△ 2.2
累計	4月～11月	△ 4.3	△ 4.9	△ 8.0	△ 8.6	△ 6.6	10.0	△ 3.1

資料：国土交通省「建設総合統計」

注)平成12年度以降のデータに対して、遡及して計算結果等の見直しを行っている。

(2) 公共機関からの受注工事

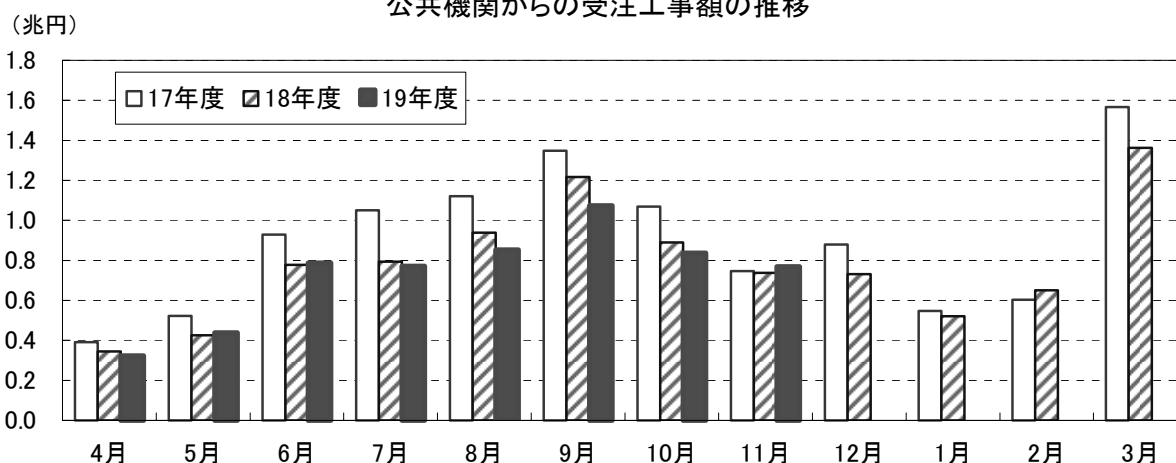
11月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は7,688億円で、前年同月比4.3%増加（5ヶ月ぶり）した。うち国の機関からは2,552億円で同22.2%増加（2ヶ月連続）、地方の機関からは5,136億円で同2.7%減少（25ヶ月連続）した。

工事分類別で見ると、農林水産（前年同月比53.0%増、寄与度+3.2）、上・工業水道（同49.4%増、寄与度+1.8）等が増加し、道路（同6.3%減、寄与度-2.2）、庁舎（同35.4%減、寄与度-1.3）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別で見ると、国以外の機関の住宅・宿舍（寄与度+2.5）、都道府県の農林水産（寄与度+1.6）、市区町村の教育・病院（寄与度+1.6）等のプラスの寄与度が大きい。

11月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比15.1%減少（6ヶ月連続）した。

公共機関からの受注工事額の推移

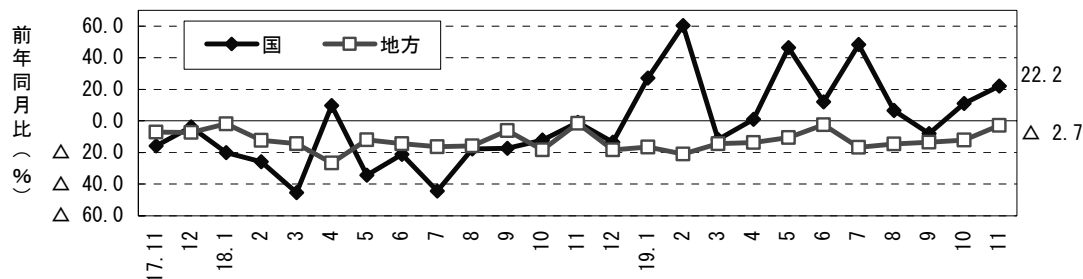


公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分		総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外の機関	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他
年度	16年度	△ 5.6	4.1	7.9	△ 1.4	△ 10.4	△ 9.8	△ 10.9	△ 6.3	△ 15.2
	17	△ 10.2	△ 17.5	△ 23.3	△ 8.2	△ 6.1	△ 4.4	△ 10.4	19.6	△ 17.9
	18	△ 12.8	△ 10.0	△ 3.6	△ 18.5	△ 14.2	△ 15.2	△ 12.8	△ 16.9	△ 13.8
月次	18年11月	△ 1.3	△ 0.8	8.4	△ 10.2	△ 1.5	3.6	△ 2.8	12.4	△ 47.5
	12	△ 16.8	△ 13.5	△ 28.8	4.5	△ 18.3	△ 9.7	△ 18.3	△ 47.5	△ 14.0
	19年1月	△ 4.8	27.1	25.1	29.7	△ 16.6	△ 26.3	△ 5.2	△ 19.1	△ 2.0
	2	7.6	60.4	38.1	101.1	△ 21.0	△ 16.4	△ 8.8	△ 61.8	△ 22.5
	3	△ 13.0	△ 11.7	△ 8.2	△ 18.1	△ 14.4	△ 12.3	4.1	△ 35.2	△ 55.2
	4	△ 6.3	1.0	△ 24.5	58.8	△ 13.6	△ 10.8	△ 20.1	△ 19.7	36.0
	5	2.8	46.4	1.7	101.9	△ 10.5	△ 1.6	△ 19.7	△ 13.0	44.4
	6	1.4	12.1	△ 3.9	51.0	△ 2.5	△ 0.4	△ 5.8	48.0	△ 50.8
	7	△ 2.8	48.4	26.9	88.1	△ 16.7	△ 24.8	△ 16.0	33.9	△ 28.3
	8	△ 9.1	6.7	14.3	△ 3.9	△ 14.7	7.8	△ 31.9	2.3	△ 33.3
	9	△ 11.8	△ 8.0	△ 22.4	20.3	△ 13.5	△ 7.0	△ 22.4	14.4	△ 41.2
10	△ 6.0	11.2	13.0	8.8	△ 12.2	△ 18.7	8.8	△ 25.6	△ 63.9	
11	4.3	22.2	4.8	43.7	△ 2.7	2.5	1.6	△ 35.9	△ 16.4	
累計	4月～11月	△ 4.4	12.7	△ 1.4	36.0	△ 11.0	△ 7.5	△ 14.0	△ 0.1	△ 32.3

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

発注機関別受注工事額の伸び率



政府建設投資関連指標

(単位: 億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
17年度	107,719	35,538	72,181	24,738	129,622	197,376	229,933
18	93,878	31,969	61,909	20,867	122,838	175,195	211,491
18年Ⅳ期	23,580	6,724	16,856	4,485	29,679	54,007	61,425
19年Ⅰ期	25,334	12,703	12,631	7,935	27,738	48,977	64,705
Ⅱ	15,477	5,488	9,989	3,445	31,040	32,988	40,536
Ⅲ	26,981	8,482	18,499	3,998	31,680	36,887	45,089
19年6月	7,878	2,307	5,571	1,700	10,982	10,091	
7	7,718	2,525	5,193	1,061	10,723	10,822	
8	8,531	2,624	5,907	1,342	9,842	12,161	
9	10,732	3,333	7,399	1,594	11,116	13,905	
10	8,372	2,628	5,745	882	11,742	16,063	
11	7,688	2,552	5,136	1,211	8,685	17,536	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
17年度	△ 10.2	△ 17.5	△ 6.1	△ 17.8	△ 5.6	△ 2.9	△ 4.2
18	△ 12.8	△ 10.0	△ 14.2	△ 15.6	△ 5.2	△ 11.2	△ 8.0
18年Ⅳ期	△ 12.5	△ 9.4	△ 13.6	△ 18.8	△ 3.1	△ 10.7	△ 9.4
19年Ⅰ期	△ 6.7	5.8	△ 16.7	2.0	7.7	△ 9.6	△ 3.3
Ⅱ	0.0	15.3	△ 6.7	6.1	△ 0.7	△ 4.3	△ 0.9
Ⅲ	△ 8.5	9.0	△ 14.8	△ 23.1	△ 7.3	△ 2.2	1.4
18年11月	△ 1.3	△ 0.8	△ 1.5	5.3	△ 5.6	△ 10.7	
12	△ 16.8	△ 13.5	△ 18.3	△ 23.1	△ 1.7	△ 8.4	
19年1月	△ 4.8	27.1	△ 16.6	24.6	△ 0.9	△ 8.7	
2	7.6	60.4	△ 21.0	34.3	△ 4.6	△ 8.0	
3	△ 13.0	△ 11.7	△ 14.4	△ 13.4	17.1	△ 11.7	
4	△ 6.3	1.0	△ 13.6	△ 12.2	1.5	△ 6.8	
5	2.8	46.4	△ 10.5	51.9	△ 0.4	△ 2.6	
6	1.4	12.1	△ 2.5	△ 1.3	△ 2.9	△ 2.6	
7	△ 2.8	48.4	△ 16.7	△ 2.6	△ 4.0	△ 0.7	
8	△ 9.1	6.7	△ 14.7	△ 20.1	△ 5.1	△ 2.0	
9	△ 11.8	△ 8.0	△ 13.5	△ 34.4	△ 12.1	△ 3.5	
10	△ 6.0	11.2	△ 12.2	△ 38.6	△ 3.2	△ 3.6	
11	4.3	22.2	△ 2.7	△ 15.1	△ 4.3	△ 2.2	
4月～11月	△ 4.4	12.7	△ 11.0	△ 15.7	△ 4.0	△ 3.1	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」「建設総合統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注) 公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※) 公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

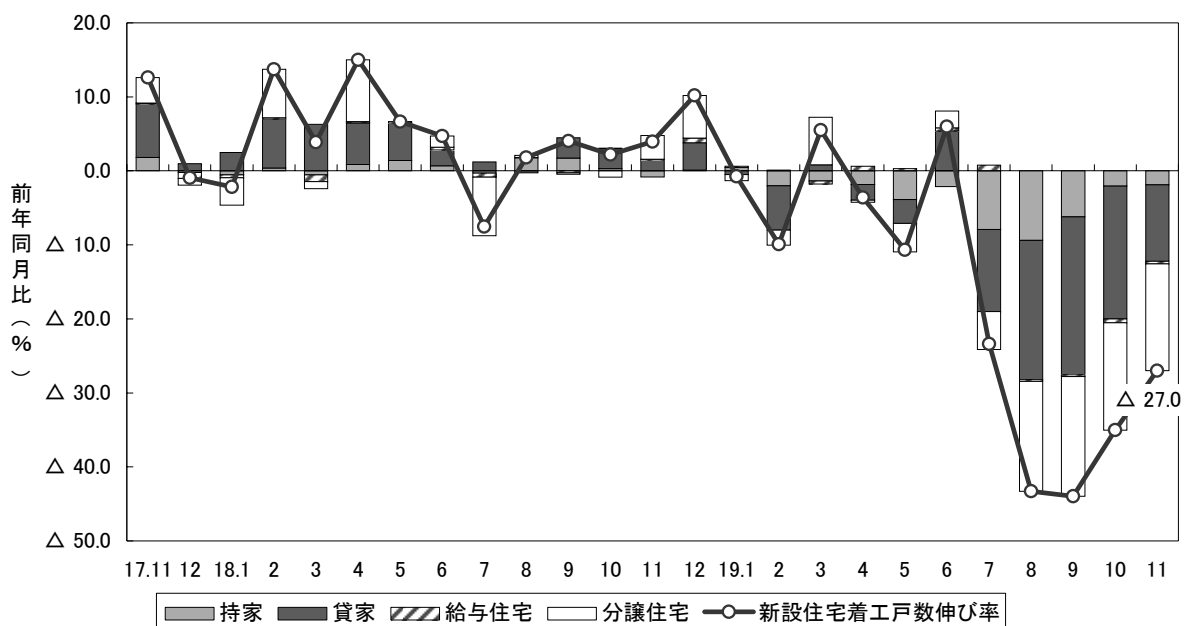
11月の着工は84,252戸。前年同月比でみると、持家、貸家、分譲住宅ともに減少したため、全体で27.0%減少（5ヶ月連続）した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成18年7-9月期1,261千戸（前期比3.1%減）、10-12月期1,327千戸（同5.2%増）、平成19年1-3月期1,246千戸（同6.1%減）、4-6月期1,270千戸（同2.0%増）、7-9月期793千戸（同37.6%減）、10月851千戸（前月比18.1%増）、11月971千戸（同14.1%増）となった。

新設住宅着工戸数（戸、前年比・%）

区 分 年度年月		総戸数	総 計	持 家	貸 家	分 譲 住 宅		季節調整済 年率換算値 総戸数 (千戸)
						マンション		
年 度	16年度	1,193,038	1.7	△ 1.6	1.9	4.6		2.5
	17	1,249,366	4.7	△ 4.0	10.8	6.1		11.2
	18	1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3		4.8
月 次	18年11月	115,392	4.0	△ 3.0	3.3	11.3		16.6
	12	107,906	10.2	0.3	8.5	20.3		28.9
	19年1月	92,219	△ 0.7	1.8	△ 1.2	△ 2.7	△ 8.6	1,253
	2	87,360	△ 9.9	△ 7.8	△ 14.6	△ 6.3	△ 6.9	1,199
	3	99,488	5.5	△ 4.8	2.0	22.1	37.3	1,304
	4	107,255	△ 3.6	△ 6.5	△ 5.3	△ 0.9	△ 1.5	1,291
	5	97,076	△ 10.7	△ 12.7	△ 7.8	△ 14.0	△ 20.3	1,155
	6	121,149	6.0	△ 7.1	13.1	8.2	16.2	1,354
	7	81,714	△ 23.4	△ 26.0	△ 25.3	△ 20.6	△ 17.0	947
	8	63,076	△ 43.3	△ 31.0	△ 46.6	△ 52.0	△ 63.2	729
	9	63,018	△ 44.0	△ 21.6	△ 51.3	△ 55.6	△ 74.8	720
10	76,920	△ 35.0	△ 8.0	△ 40.2	△ 50.2	△ 71.1	851	
11	84,252	△ 27.0	△ 7.6	△ 23.4	△ 47.4	△ 63.9	971	
累計	4月～11月	694,460	△ 22.7	△ 15.3	△ 23.7	△ 29.4	△ 38.3	—

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料：国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

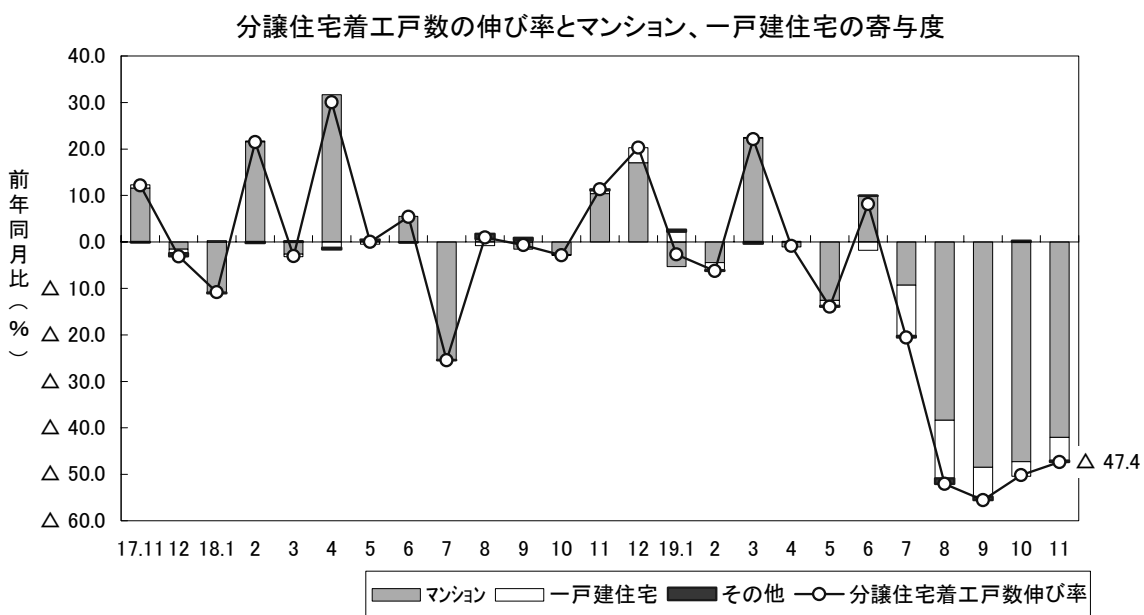
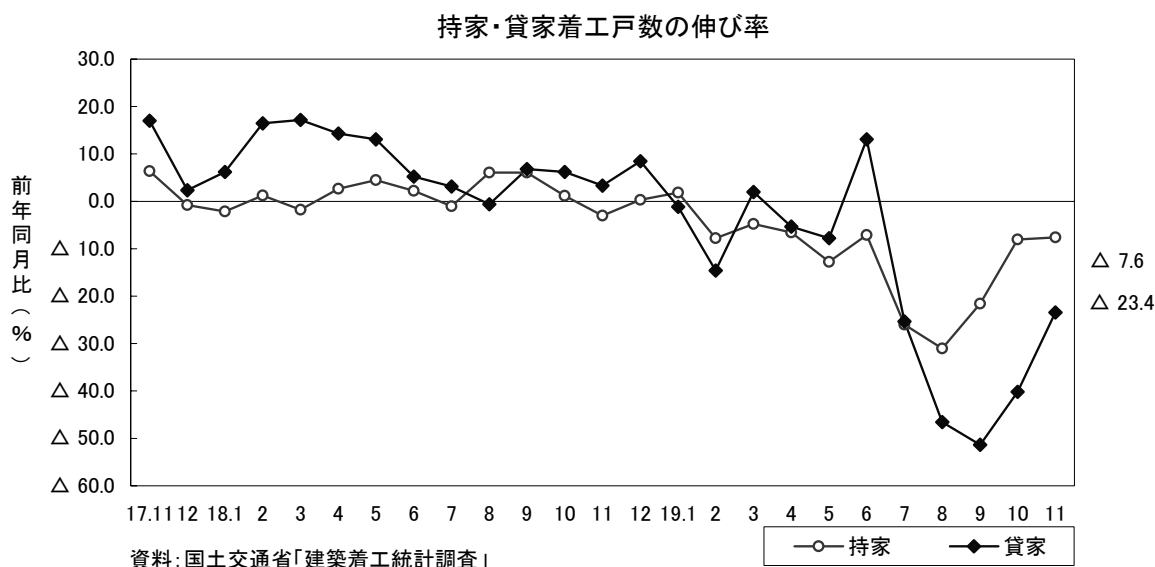
11月の着工は26,604戸。中国では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比7.6%減少(10ヶ月連続)した。

<貸家>

11月の着工は38,859戸。北海道、中部では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比23.4%減少(5ヶ月連続)した。

<分譲>

11月の着工は18,478戸。全地域で減少し、全体では前年同月比47.4%減少(5ヶ月連続)した。マンションは8,331戸で、首都圏は減少(4,681戸、前年同月比59.2%減、5ヶ月連続)、中部圏は減少(1,169戸、同42.8%減、4ヶ月連続)、近畿圏は減少(1,942戸、同52.4%減、5ヶ月連続)、その他の地域は減少(539戸、同90.2%減、7ヶ月連続)し、全体では同63.9%減少(5ヶ月連続)した。一戸建住宅は10,054戸で、同14.9%減少(7ヶ月連続)した。



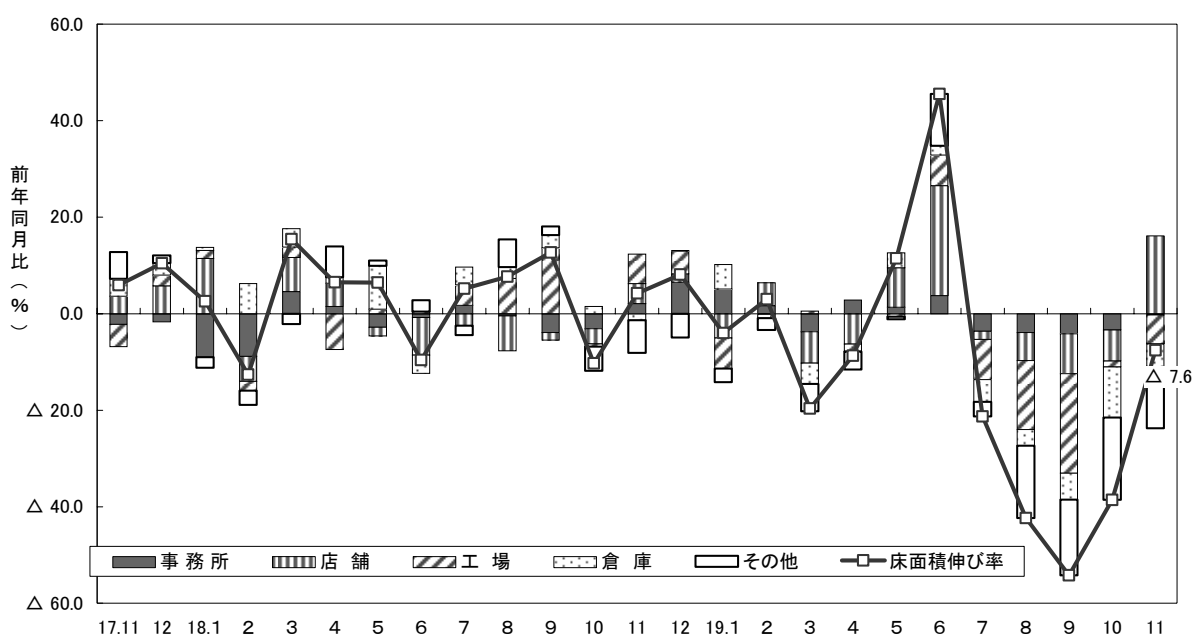
(4) 民間非居住建築

11月の着工床面積は512万㎡で、前年同月比7.6%減少(5ヶ月連続)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は52万㎡で前年同月比2.5%減少(5ヶ月連続)、店舗は199万㎡で同82.1%増加(5ヶ月ぶり)、工場は91万㎡で同26.9%減少(5ヶ月連続)、倉庫は34万㎡で同53.3%減少(5ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成19年12月実施)で平成19年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比10.8%増加(平成18年度前年度比11.7%増加)となり、非製造業(大企業)は同10.2%増加(平成18年度同9.1%増加)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は-2、「先行き」は-3となり、設備過剰感は横ばいとなっている。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額					(前年比・%)
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫	
年	16年度	13.8	9.6	7.5	36.0	8.8	9.7	7.1	8.5	44.2	5.1	
	17	3.8	△ 4.4	9.7	6.8	16.3	6.2	△ 9.6	17.0	13.2	17.6	
	18	0.6	2.5	△ 9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	△ 3.1	10.3	17.4	
月	18年11月	4.2	26.5	25.1	35.5	△ 8.9	19.5	49.8	59.7	42.7	2.7	
	12	8.1	80.5	8.2	23.6	0.2	9.6	102.5	58.0	7.7	14.6	
	19年1月	△ 4.0	69.8	△ 22.2	△ 25.6	42.9	△ 1.6	100.5	△ 31.6	△ 0.8	66.6	
	2	3.0	17.7	27.0	△ 0.6	△ 4.9	2.7	27.4	39.2	△ 20.8	5.5	
	3	△ 19.7	△ 27.4	△ 32.8	2.8	△ 28.2	△ 22.5	△ 45.9	△ 16.5	△ 2.5	△ 17.5	
	4	△ 8.7	28.3	△ 30.9	△ 6.6	△ 0.5	△ 3.8	23.5	△ 15.0	△ 9.2	0.4	
	5	11.4	12.9	58.1	△ 2.7	15.1	9.8	17.7	60.8	△ 9.4	22.9	
	6	45.5	38.8	152.3	25.5	12.6	50.1	48.7	147.7	37.5	16.4	
	7	△ 21.3	△ 32.7	△ 9.9	△ 34.5	△ 28.7	△ 15.5	△ 37.7	△ 8.4	△ 27.7	△ 22.1	
	8	△ 42.4	△ 40.6	△ 46.3	△ 57.1	△ 22.0	△ 39.0	△ 35.2	△ 42.1	△ 57.1	△ 10.7	
	9	△ 54.2	△ 48.0	△ 52.7	△ 74.9	△ 42.4	△ 47.5	△ 39.3	△ 47.1	△ 73.0	△ 37.1	
10	△ 38.6	△ 32.1	△ 47.7	△ 5.6	△ 67.4	△ 34.9	△ 19.8	△ 40.6	11.8	△ 68.7		
11	△ 7.6	△ 2.5	82.1	△ 26.9	△ 53.3	△ 13.6	△ 7.0	49.9	△ 6.9	△ 46.8		
累計	4月~11月	△ 14.2	△ 8.7	14.4	△ 24.3	△ 20.6	△ 12.0	△ 5.5	16.0	△ 19.9	△ 15.4	

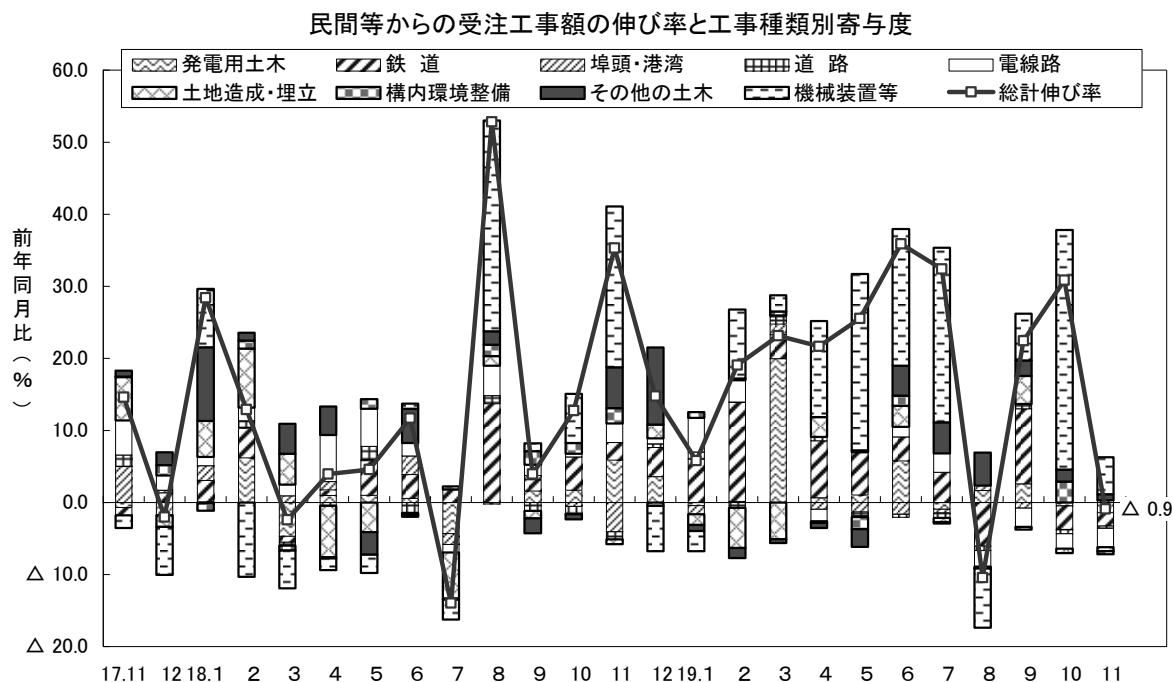
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

11月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,792億円で、前年同月比0.9%減少（3ヶ月ぶり）した。

発注者別でみると、電気・ガス・熱供給・水道業（前年同月比33.5%増、寄与度+7.8）、卸売・小売業（同120.2%増、寄与度+1.1）等が増加し、製造業（同17.7%減、寄与度-6.3）、不動産業（同31.6%減、寄与度-1.8）等が減少した。

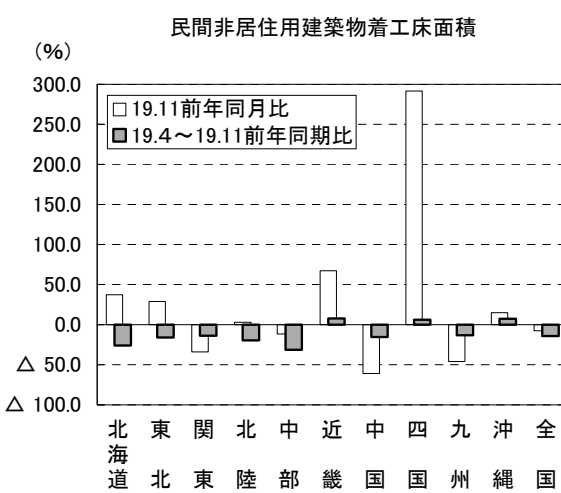
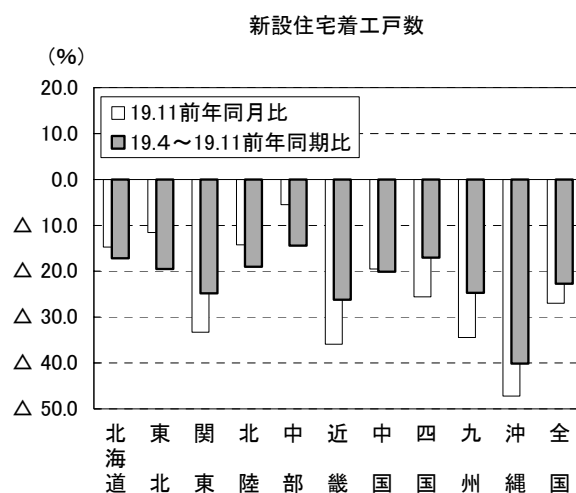
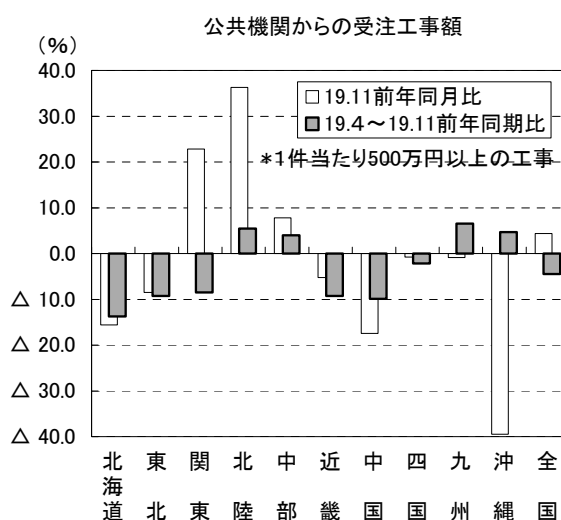
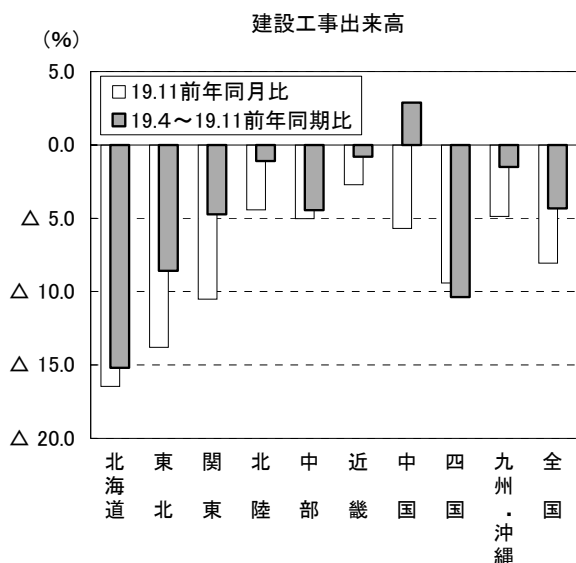
工事種類別でみると、機械装置等工事（寄与度+5.1）、その他の土木工事（寄与度+1.5）等が増加し、電線路工事（寄与度-2.6）、鉄道工事（寄与度-1.9）等が減少した。



区分		(前年比・%)								
年度年月	総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等	
年	16年度	5.5	4.7	△ 11.4	4.6	△ 5.9	△ 15.2	7.8	△ 0.8	30.9
	17	3.6	△ 5.3	△ 0.8	120.6	38.1	18.0	51.0	7.2	△ 11.9
	18	13.5	110.9	32.2	△ 1.0	△ 1.0	17.6	△ 24.4	25.1	10.6
月	18年11月	35.3	276.9	16.3	△ 81.9	△ 40.2	18.7	△ 6.0	85.0	61.9
	12	14.8	247.4	28.5	△ 0.3	37.3	7.0	24.5	△ 11.5	△ 14.4
	19年1月	5.8	△ 24.7	49.3	△ 51.4	141.8	31.0	△ 16.8	37.6	△ 7.0
	2	19.1	2.0	100.7	11.5	△ 51.7	32.5	△ 47.3	7.7	25.2
	3	23.1	1327.1	14.4	91.0	120.3	2.5	△ 38.4	32.9	6.9
	4	21.7	13.6	60.9	△ 43.7	49.8	△ 8.2	38.9	△ 3.9	43.2
	5	25.5	49.6	41.0	△ 71.3	△ 21.5	△ 2.1	3.3	△ 31.0	67.2
	6	35.9	304.2	19.9	△ 53.5	△ 23.6	10.6	30.5	40.6	55.5
	7	32.4	△ 40.5	29.3	△ 55.7	△ 43.4	12.1	△ 8.8	△ 4.4	72.3
	8	△ 10.4	100.6	△ 30.3	90.5	△ 36.6	△ 20.4	△ 3.7	△ 0.6	△ 19.0
	9	22.4	47.2	62.5	△ 61.5	42.2	△ 22.6	51.6	△ 9.3	18.0
10	30.8	△ 17.7	△ 21.0	△ 15.3	△ 26.8	△ 14.9	△ 8.8	76.9	76.5	
11	△ 0.9	△ 23.3	△ 14.5	47.1	△ 28.7	△ 21.3	△ 6.7	△ 13.1	11.9	
累計	4月～11月	19.0	31.9	15.6	△ 35.1	△ 14.4	△ 7.2	12.8	4.6	37.2

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

(6) 地域別動向



区分 地域	出来高		受注・着工			企業倒産		雇用		
	建設工事出来高	公共機関受注	新設住宅	民間非居住用建築物	民間等受注(土木・機械)	建設業倒産件数	建設技能労働者不足率(6職種計・原数値) 11月	有効求人倍率(季調済) 11月		
	4月~11月	4月~11月	4月~11月	4月~11月	4月~11月	4月~12月	%	前年差	倍	前月差
北海道	△15.2	△13.7	△17.2	△26.1	8.5	11.4	0.7	△2.8	0.58	△0.01
東北	△8.6	△9.3	△19.6	△16.0	2.9	10.6	△0.5	△2.3	0.69	△0.04
関東	△4.7	△8.5	△24.8	△13.9	14.2	4.9	0.9	△5.3	1.13	△0.02
北陸	△1.1	5.5	△19.0	△19.7	19.4	30.3	1.0	△1.6	1.17	△0.03
中部	△4.5	4.0	△14.5	△31.4	12.2	1.2	△0.5	△3.5	1.51	0.01
近畿	△0.8	△9.3	△26.2	7.6	25.3	27.5	0.9	△1.5	1.03	△0.05
中国	2.9	△9.9	△20.1	△15.2	2.7	△2.4	△0.6	△3.0	1.10	△0.06
四国	△10.4	△2.2	△17.0	6.0	99.5	28.4	1.6	△0.1	0.89	0.01
九州	△1.5	6.5	△24.7	△13.0	38.3	30.6	1.5	△0.8	0.71	△0.04
沖縄	—	4.7	△40.1	7.2	105.0	△18.2	0.7	△0.3	0.41	△0.04
全国	△4.3	△4.4	△22.7	△14.2	19.0	13.9	0.3	△2.7	0.99	△0.03

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」、「建設労働需給調査」、
 帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」
 注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。
 建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。
 労働に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。